

事業報告

I 総括

第77回国体スケート競技会、スキー競技会が開催され、本県開催となったスキー競技会においては、北京オリンピックや世界選手権等の影響で主力選手が出場できない中で、天皇杯・皇后杯共に4位という成績であった。

令和3年度より、新たな強化策としてチームAKITA強化・育成システムがスタートした。指定9競技団体においては、美の国あきた鹿角国体2022において、少年女子クロスカントリー山田智子選手（秋田北鷹高）と少年女子3名を含む女子クロスカントリーリレーにおいて優勝を果たした。さらには、全日本バレーボール高等学校選手権「春高バレー」において、雄物川高校男子バレーボール部がベスト4進出を果たした。中学生強化選手の活躍では、全国中学校総合体育大会において、水泳競技高橋凜選手（城東中）が100m自由形において3位入賞、また白鳥航生選手（能代第二中）が100m、200m背泳ぎで2位入賞を果たした。

社会人スポーツ強化チームとして支援している、北都銀行女子バドミントン部の永原・松本ペアが東京オリンピック出場を果たした。また、秋田ノーザンブレッツラグビーフットボールクラブが、ラグビートップイーストリーググループBで優勝しグループA昇格を決めるなどの活躍があった。

アスリートの就職支援については、13名を支援し、5名のマッチングが成立した。求人側の採用意欲は高いものの、アスリートの就職意識が低いことから、大学生を中心に制度の周知徹底と企業情報の提供に努めた。

生涯スポーツの振興では、総合型クラブ会員が地域交流会に多数参加し交流を深めた。

また、スポーツ少年団活動では、交流大会を開催し団活動の活性化を図った。

II 事業内容

《公1》競技スポーツ事業 【4, 724千円】

1 第72回県民体育大会

- (1) 第72回県民体育大会の運営に必要な経費の一部助成
3競技の中止により、37競技 6,643名が参加

《公2》スポーツの競技力向上及び普及等に関する事業 【97, 636千円】

1 競技力向上対策事業

(1) スポーツ医・科学の活用

スポーツドクター、トレーナーによるスポーツ医・科学的サポート

- ①国体選手・指導者のメディカルチェック及びサポート 冬季大会のみ実施
- ②国体への本部役員帯同ドクターの派遣 冬季大会2名派遣
- ③国体への本部役員帯同アスレティックトレーナーの派遣 本大会中止
- ④ドーピング防止講習会の開催

国体出場選手〔令和3年9月1日〕 中止

スポ少指導者・保護者 中止

(2) 東北ブロック・国体への選手団派遣

- ①東北ブロック大会兼第48回東北総合体育大会（山形県）

〔令和3年8月19日～22日（主会期）〕

夏季競技会6競技中止

エントリー数 31 競技 576名

②第76回国民体育大会本大会（三重県）

[令和3年9月25日～10月5日（本大会）] 中止

③第77回国民体育大会冬季大会

[スケート競技会 令和4年1月27日～31日]（栃木県日光）

エントリー数 1 競技 6名

[スキー競技会 令和4年2月17日～20日]（秋田県鹿角市）

エントリー数 1 競技 85名

(3) チームAKITA強化・育成システムによる選手育成・強化

①チームAKITA強化育成システム

9 競技団体指定

強化練習会の激励・戦力分析の実施

②中学生強化選手の指定・研修

選手の指定 [令和3年6月26日] 11 競技 34名

[令和3年11月27日] 5 競技 46名

*6月26日は指定証交付式 中止（各中学校にて代替実施）

メディカルチェック（身体検査・採血検査）[令和3年6月26日、11月27日] 中止

資質・競技力向上研修（フィジカルトレーニング、宿泊研修等）

[令和3年8月28日～29日 WEB配信、11月23日 通常開催、令和4年2月23日 WEB配信]

(4) テクニカルアドバイザー等による競技力向上

テクニカルアドバイザー（10名） ジュニア育成アドバイザー（2名）を配置

(5) 社会人チームの支援及び強化

国体等で活躍する社会人スポーツ選手の競技力向上のための支援

(6) トップアスリートの活躍を支援する取り組み

現役アスリートが県内に就職し競技を続行できるようにするため、アスリート就職推進アドバイザーを配置し、求人・求職情報の収集とマッチングサポートを実施

（コロナ禍支援者延べ13名、事業適用者なし、候補者1名、一般マッチング者5名）

2 スポーツの普及・振興を図るための広報活動

(1) 機関誌「スポーツ秋田」（年3回 各2,000部）

(2) スポーツ関連情報をホームページで発信

3 加盟団体が実施したスポーツ事業への助成

(1) 地域団体及び学校体育団体へ助成（26件）：加盟団体育成事業交付金

(2) 競技団体へ助成（5件）：スポーツ振興助成事業助成金

4 体育・スポーツの振興に顕著な功績があった者の顕彰

(1) 秋田県スポーツ賞表彰 [令和4年3月9日]（延期）→ [令和4年3月24日]

最高功労者1名、功労賞9名、栄誉賞2名、特別賞7名、国際優秀賞2名、国際奨励賞

1名、優秀指導者賞1名、栄光賞（個人31名・団体8）、奨励賞（個人7名・団体1）

(2) 人見スポーツ賞表彰 [令和4年3月24日]

個人の部 山田 智子（スキー・秋田北鷹高校3年）

団体の部 秋田県立雄物川高等学校 男子バレーボール部
秋田ノーザンブレッツラグビーフットボールクラブ

(3) 畠沢国体賞表彰 [令和4年3月24日]

個人の部 田中 聖土（スキー・自衛隊体育学校冬季特別体育教育室）

団体の部 秋田県女子リレーチーム

(4) 辻ジュニアスポーツ大賞表彰 [令和4年3月24日]

個人の部 佐藤 京介（陸上競技・美郷町立仙南小学校6年）

齊藤 悠斗（スケート・秋田市立桜小学校5年）

団体の部 秋田アスレティッククラブ

(5) 蒔苗スポーツ指導者賞表彰 [令和4年3月24日]

佐々木 翔 北都銀行バドミントン部監督

5 人見スポーツ傷害基金による傷害防止対策事業

研修会 中止

死亡弔慰金の給付 該当なし

6 競技団体が実施する競技会等の共同主催（後援）

共同主催 0件（県体、東北総体）

後援 51件

《公3》生涯スポーツ振興事業

【17,270千円】

1 総合型地域スポーツクラブの育成指導・助言

(1) 総合型クラブの指導・助言

県内 70クラブ

(2) 総合型クラブ連絡協議会事業

①総合型クラブ地区交流会の開催

県南地区交流会：7月10日 参加者 8クラブ80名

県央地区交流会：10月31日 参加者 2クラブ4チーム50名

県北地区交流会：11月28日 参加者 7クラブ9チーム102名

②東北ブロッククラブネットワークアクション2021の開催（主催：日本スポーツ協会）

Web [令和3年11月27日] 参加者73名

③健康寿命延伸に向けた取り組み

総合型クラブに「円熟健康運動普及員」を配置

・委託先 秋田県総合型地域スポーツクラブ

・委託名 健康寿命延伸に向けた事業委託

・養成講習会の全課程を修了した人を「円熟健康運動普及員」に認定

- (3) チャレンジデーへの参加促進
県内20市町村で実施 [令和3年10月27日]

2 スポーツ指導者養成のための講習会、研修会

- (1) スポーツ指導者研修会
第1回秋田県スポーツ指導者研修会 [令和4年1月10日] 参加者35名
第2回秋田県スポーツ指導者研修会 [令和4年1月15日] 参加者31名

3 スポーツ少年団の競技別交流大会、リーダー養成の研修会等の実施

(1) 交流大会

- ①第58回秋田県スポーツ少年大会（仙北市、令和3年7月30日～8月1日） 中止
②第44回秋田県スポーツ少年団大会（各地、令和3年6月～令和4年2月）
例年は、8競技の実施であるが、新型コロナウイルス感染症の影響からサッカー、柔道、バレーボール、卓球、アルペンスキー競技が中止となった。軟式野球（令和3年8月11日～14日 334名）ミニバスケットボール（令和3年11月27日～28日 女子196名 令和3年12月4日～5日 男子197名）の2競技は実施した。
③東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会（3県で開催、令和3年6月～令和4年2月）
例年は、4競技の実施であるが、新型コロナウイルス感染症の影響から柔道、ミニバスケットボール競技が中止となった。軟式野球（秋田県 令和3年6月27日 2団）サッカー（岩手県 令和3年7月17日～18日 2団）の2競技は実施した。

(2) リーダー養成（随時開催）

- ①リーダー総会（秋田市、令和3年6月20日 指導者7名、団員14名）
②ジュニアリーダースクール（仙北市、中止）
③リーダー研修会（秋田市、中止）
④リーダーのつどい（秋田市、令和4年3月19日 指導者3名、団員18名）

(3) 海外交流事業

スポーツ少年団日独スポーツ交流事業 [受入：なし]

(4) スポーツ少年団モデル育成事業

上小阿仁村、五城目町、羽後町においてスポーツ交流会を実施。

4 スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会等、スポーツ少年団顕彰等

- (1) スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会（秋田市、令和3年7月17日 47名
オンライン 令和3年11月1日～令和4年2月19日 877名）

(2) 指導者等再研修会・育成母集団研修会（大仙市、令和3年12月18日 63名 秋田市、
令和4年1月9日 141名）

(3) スポーツ少年団顕彰事業
功労者10名、優秀指導者5名、優秀単位団6団、優秀母集団1団

(4) スポーツ少年団広報事業
①広報誌「スポーツ少年秋田」（年1回 2,500部）

②「スポーツ少年団の現状」 (年1回 950部)

《収益事業》

- 1 自主財源確保のための飲料水等販売事業 【5,099千円】
(1) 自動販売機事業 (18施設 74台設置)
(事業収入 4,612千円)

Ⅲ 組織運営及び財政確立

1 組織の充実

事務局の実施業務の効率的執行のため、課・担当を横断した業務遂行に努めたほか、強化委員による競技団体ヒアリングの実施や「チームAKITA1,000点プラン」達成に向けての検討など強化対策に努めた。

2 財政の確立

(1) 賛助会員

法人154団体 個人27名
・受取会費 2,131千円

(2) 寄附金

法人14団体 個人33名
・寄附金総額 4,930千円

(3) 特別寄付金

秋田ノーザンハピネッツ株式会社から、バスケットボールの普及・振興等のための寄附
・寄附金総額 1,000千円